



武庫の宝

令和6年10月号



三田市立武庫小学校長 大向 勲

記録的な残暑が続いた9月でしたが、月末からはようやく秋らしい気配となり、毎朝登校する子どもたちの表情もさわやかに感じられます。

9月3日から4泊5日で5年生が自然学校で淡路島へ、6年生は28日から広島へ修学旅行に1泊2日で学校の外に学びの場を移し、充実した思い出に残る時間を過ごしました。そしてたくさんの「価値発見」をしてくれたはずです。

1学期の終業式で子どもたちへ「価値発見キッズ大募集！」という自由課題を出しました。まだ武庫小学校に着任して、4か月、1学期を終えたばかりです。「価値発見という言葉はどれだけ子どもたちに広がっているかなあ。」「どれくらい集まるかな…」期待と不安を抱きながら2学期を迎えたのですが…

右写真は校長室前の掲示板です。なんと77枚の作品がそろいました！1年生から6年生まで、それぞれが「価値発見」という視点を持って取り組んでくれたことがとにかくうれしく



くてたまりませんでした。例えば家族に対しての「ありがとう」。学年が上になるにつれて家族から広がって、その視点が他者にも向けられているんですね。「ヒト」に対しての視点もあれば、「モノ」や「デキゴト」に対する視点もありました。普段いつも目に入っているはずのゴミステーションや出かけた先の電柱にあった看板、楽しい夏祭り…「価値発見」という視点がなければ気づきは生まれなかったかもしれません。そしてこの課題がないと、伝えてもらえなかったかもしれません。このような視点を育てるためには、私たち大人のちょっとした声かけが大切であり、もっと言えば普段から私たちがそのことをできているかだと思うのです。ですからきっとこの作品のかけにはご家庭でのご協力もあったかと思うのです。本当にありがとうございます。

この掲示を眺めている子たちがいました。「これはいいなあと思ったのを見つけて教えてくれたらうれしいな」と話しました。「これ！」と早速教えてくれた子がいました。そんな風に少しずつではありますが、確実に「価値発見の文化」が広がってきています。